

地域における 認知症についての取り組み

平成30年2月22日
第4回 定例会（情報交換会）

中川連合町内会長
中川地区経営委員会委員長

小泉 正彦₁

はじめに . . .

中川連合町内会は、地域住民や諸団体が連携して地域の課題解決に向け、主体的に取り組むことにより、地域自治の推進と地域の発展・向上を図ることを目的に、平成20年9月27日（土）の定例会において中川地区経営委員会を設立しました。

そして、地域課題解決に向けて、「青少年育成のための諸活動」、「認知症にやさしい街づくり」をメインテーマとして、活動をしてきました。

認知症とは？

脳の器質的病変異によって
記憶を中心とした知的機能が徐々に低下し
日常生活の遂行に不具合を生じた状態
成人期以降の発症に対して用いられる

<ポイント>

一度獲得した（記憶）能力の消失
日常生活が営めない

4 大認知症

- アルツハイマー型認知症
- レビー小体型認知症（パーキンソンの脳幹で発見されたレビー小体が大脳皮質に見られる、ドーパミンに係する）
- 脳血管系認知症（脳梗塞、脳出血などの血管の異常）
感情、失禁、気分のむら、麻痺
- 前頭葉側頭葉型認知症（一方的に話す、感情鈍化、異常行動、人を無視する、馬鹿にした態度をとるなど）

認知症と間違えやすい主な疾患

- ・ 老年性うつ
- ・ 老年性統合失調症
- ・ 軽度精神障害
- ・ 精神発達障害
- ・ 難聴、白内障
- ・ PTSD（心理的なトラウマ）

「老化によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」の違い

老化によるもの忘れ

記憶の帯

体験の流れ

健康なもの忘れ

認知症のもの忘れ

記憶の帯

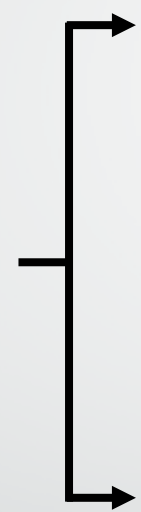
体験の流れ

抜け落ちる

人の名前が思い出せない

えっと、この人は・・・

単なるもの忘れ



ヒントを与えたり
すると思い出せる



認知症



関連した事柄を示しても
思い出せない

認知予備能力は . . .

脳内神経細胞（140億個）の神経細胞

ネットワークの広がり と 絆の強さは、

運動・食事・社会活動 によって強化される。



「認知症サポート連絡会」の経緯と活動



中川地区経営委員会・中川連合町内会で、泉区役所、新橋地域ケアプラザと連携して活動を推進。

中川地区経営委員会、中川連合町内会、中川地区社会福祉協議会、泉区福祉保健センター、高齢・障害支援課、新橋地域ケアプラザの施設が、連携・協働の場として、『三本の矢の会』を設立。

- 平成22～24年 認知症サポートセミナー開催
「認知症の理解と地域の見守り」 八森 敦 先生
- 平成25年 サポーターステップアップ講座
「認知症の家族の葛藤 体験談」 かまくらりんどうの会
- 平成26年 認知症予防セミナー
「認知症の予防について」 米山 公啓 医師
「認知症予防の食養生①」 小林 玲子 管理栄養士
- 平成28年7月17日 「認知症キャラバンメイトのつどい」を開催

認知症セミナーで学んだこと



- ①認知症の方の本人の不安や不快感などを解消するため、どう関わるか
- ②本人も家族も楽になる関わり方
- ③認知症と認知症の方の心を理解する方法



認知症にやさしい街づくりの取り組みのなかで得たもの

- ・平成22～24年 認知症サポートセミナー開催
- ・市民キャラバンメイト213名
- ・平成25年 サポーターステップアップ講座



(セミナー参加者のアンケートより)

- ・認知症について勉強したい
- ・もっと多くの家族の思いを具体的に聞きたい
- ・地域で困っている認知症の方に声をかけにくい
- ・認知症の家族に声をかけるのはむずかしい



- ・認知症をオープンにできる地域づくり
- ・自分自身が認知症を予防することが大切
- ・隣人、地域で関わりを持てるような関係づくりが大切である
- ・もっともっと認知症について知識を持たないと認知症にふれることはできない



中川地区における認知症の取り組みについて (今まで)

◆これまでの認知症の取り組みについて

- ・ 高齢化で認知症にかかる人が急増している現状を把握した
- ・ 「認知症」の名前を知っていても、実態を知らないため、認知症の勉強会（セミナー）を実施した
- ・ 認知症は、まず予防が大切であるため、予防講座を開催した



中川地区における認知症の取り組みについて (現在)

<認知症サポートの仕組みづくり>

中川地区で設立した「**認知症サポート連絡会**」の中で
認知症の見守りと対応のポイントを学んでいる。

<平成29年度の活動>

現在連絡会には、32名の方が登録し、地域の認知症対応グループホーム「アカシアの家」の協力を得て、認知症の方々との交流を始めた。

中川地区における認知症の取り組みについて (これから)

「認知症サポート連絡会」の活動を
活発化させる・連絡会に関わる人を増やす

- ①認知症のことをもっと学ぶ
- ②自分が認知症にならない予防法を学ぶ
- ③認知症の見守りポイントを学ぶ
- ④認知症と思われる方に出会った時の対応を学ぶ
など、研修会や勉強会を行い、地域力を結集する

地域交流の場「ライフサポート隊の活動」と
里山プロジェクトの活動の触れ合いの場として活かしていく。

ご清聴ありがとうございました

